

平成30年 9月

Khine Yin Mon 学位論文審査要旨

主 査 岡 田 太
副主査 汐 田 剛 史
同 原 田 省

主論文

New insights into the efficacy of SR-16234, a selective estrogen receptor modulator, on the growth of murine endometriosis-like lesions

(マウスの子宮内膜症様病巣の増殖におけるSR-16234(選択的エストロゲン受容体調節剤)の効果に対する新しい知見)

(著者: Khine Yin Mon、谷口文紀、柳樂慶、中村和臣、大林徹也、尾崎充彦、原田省)

平成30年 American Journal of Reproductive Immunology DOI : 10.1111/aji.13023

参考論文

1. Lipopolysaccharide promotes the development of murine endometriosis-like lesions via the nuclear factor-kappa B pathway

(リポポリサッカライドはNF- κ B経路を介してマウスの子宮内膜症様病巣の進展を促進する)

(著者: 東幸弘、谷口文紀、中村和臣、柳樂慶、Khine Yin Mon、木山智義、上垣崇、伊澤正郎、原田省)

平成29年 American Journal of Reproductive Immunology DOI : 10.1111/aji.12631

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、慢性骨盤炎症を模した子宮内膜症モデルマウスを用いて、新規選択的エストロゲン受容体調節剤（SERM）であるSR-16234が子宮内膜症病巣に及ぼす影響について検討した論文である。SR-16234が、NF- κ B経路を介して炎症性サイトカインや血管新生因子等の発現および免疫担当細胞の集積を抑制することにより、子宮内膜症病巣を縮小させることを示した。本研究成果により、SR-16234が新しい子宮内膜症治療薬となる可能性が示唆された。本研究は新知見に富み、その成果は生殖内分泌研究に貢献するとともに、学術の水準を高めたものと認められる。